

2022. 12. 12

< 配信枚数2枚 >

報道関係者 各位

■ カンヌ国際映画祭 カメラドール特別表彰作品 ■

映画『PLAN 75』上映会・早川千絵監督トークイベント 開催

日 時 : 2022年12月23日(金) 14:30~18:00

開催方法 : 現地会場(立命館大学衣笠キャンパス)とオンライン同時開催

立命館大学生存学研究所は、第75回カンヌ国際映画祭「ある視点」部門正式出品・カメラドール特別表彰作品である、映画『PLAN 75』の上映会と、早川千絵監督をお招きしたトークイベントを12月23日(金)に衣笠キャンパス(京都府京都市)で開催いたします。

立命館大学生存学研究所は「生存学」の創成拠点として設立され、「障老病異」を基軸とし、研究・教育活動を展開しています。本企画では、“75歳以上が自らの生死を選択できる<プラン75>”という架空の制度を題材とし、「生きる」という究極のテーマを問いかける映画作品『PLAN 75』の上映会と、本作品の監督であり脚本を手掛けた早川千絵監督をお招きし、トークイベントを行います。

本作品は、第75回カンヌ国際映画祭「ある視点」部門に正式出品され、長編映画新人監督に授与されるカメラドール賞・スペシャルメンションを受賞し、第95回米国アカデミー賞国際長編映画部門日本出品作品にも選出され、非常に注目されている作品でもあります。

記

日 時 : 2022年12月23日(金) 14:30~18:00
場 所 : 立命館大学衣笠キャンパス 以学館1階 IG102
(京都市北区等持院北町56-1) ※オンライン配信有(トークセッションのみ)
対 象 : どなたでもご参加いただけます(事前申込制)
内 容 : 14:30~16:30 映画『PLAN 75』上映(対面会場のみ)
16:45~18:00 トークセッション(対面会場およびZoomウェビナー)
※トークセッションは文字通訳・手話通訳あり

【登壇者】

- ・早川千絵 監督
- ・大谷いづみ 産業社会学部教授・生存学研究所副所長
- ・斎藤真緒 産業社会学部教授
- ・司会:川端美季 生存学研究所特別招聘准教授

参加費 : 無料
申込方法 : 申し込みフォームから必要事項を記入してご登録ください
<https://forms.gle/x6S7u83xxT9QmRdz9>

主 催 : 立命館大学生存学研究所

共 催 : 立命館大学人間科学研究所、産業社会学部、先端総合学術研究科

※ご取材いただける場合は、12月22日(木)17:00までに、下記までご連絡をお願いします。

以上

本リリースの配布先: 京都大学記者クラブ、草津市政記者クラブ、大阪科学・大学記者クラブ

●取材・内容についてのお問い合わせ先

立命館大学広報課 担当:池田 TEL. 075-813-8300 Email. r-koho@st.ritsume.ac.jp

別紙

【早川千絵監督 プロフィール】

NY の美術大学 School of Visual Arts で写真を専攻し独学で映像作品を制作。短編『ナイアガラ』が 2014 年カンヌ映画祭シネフォンダシオン部門入選、ぴあフィルムフェスティバル グランプリ、ソウル国際女性映画祭 グランプリ、ウラジオストク国際映画祭 国際批評家連盟賞を受賞。18 年、是枝裕和監督製作総指揮のオムニバス映画『十年 Ten Years Japan』の一篇『PLAN75』の監督・脚本を手がける。その短編からキャストを一新し、物語を再構築した本作にて、長編映画デビューを果たす。

【PLAN 75 作品紹介 URL】

・URL:<https://happinet-phantom.com/plan75/>

【立命館大学生存学研究所】

立命館大学生存学研究所(前身は生存学研究センター:2018 年度まで)は、2007 年度文部科学省グローバル COE プログラム「生存学」創成拠点の採択を受け、設立されました。5 年間のプログラムとして「生存学」創成拠点では、大学院先端総合学術研究科と人間科学研究所が基幹となり、教員・院生・研究員が組織を超えて連携し、研究・教育活動を展開してまいりました。こうした実績を踏まえて「生存学」を構想・提言・実践しつつさらなる展開を行う国内の中核的研究拠点となります。また、海外研究者との連携を強め、グローバルなハブ機能をもった拠点として国内外での「生存学」の交信を目指します。

・URL:<https://www.ritsumeai-arsvi.org/>